

着ぐるみ使用マニュアル



湯梨浜町天女キャラクター

ゆり^{Yuribin}ちゃん

鳥取県湯梨浜町

目 次

1. はじめに	1
2. ゆりりんの着ぐるみの使用について	1
3. 事前の確認事項	2
4. 着ぐるみに入る人の注意点	3
5. 着ぐるみのパーツ	4
6. 着替えの手順	6
7. 装演時の注意点（中に入る人向け）	9
8. 装演時の注意点（アテンダント向け）	11
9. 着ぐるみの取り扱い、管理	13

1. はじめに

この着ぐるみ使用マニュアルは、湯梨浜町天女キャラクター「ゆりりん」の着ぐるみを正しく使用していただくために、その使用方法や注意事項についてまとめたものです。

ゆりりんの着ぐるみが町民の皆さまをはじめ多くの方々に親しまれ、積極的な活用を通して、湯梨浜町のPR、イメージアップにつながるよう、さまざまな場面で活用いただきますようお願いいたします。

2. ゆりりんの着ぐるみの使用について

- (1) ゆりりんの着ぐるみに関する著作権は湯梨浜町に帰属します。ゆりりんの着ぐるみを使用する場合は、「湯梨浜町天女キャラクターの着ぐるみの使用に関する要綱」により、使用承認申請を行い、事前に町の承認を受けてください。
- (2) ゆりりんの着ぐるみの使用は、このマニュアルに従って正しく使用してください。



3. 事前の確認事項

着ぐるみを使用する前には、以下の点を必ず確認してください。

(1) 人員体制

- ① 装着・装演をするときは、2人以上で順次交替していくことが理想です。
- ② 1回の装着・装演は、30分程度を上限として、必ず休憩を取ってください。
- ③ アテンダント（補助者）は、必ず1人以上付け、移動時などの補助を行ってください。
- ④ 子どもが集まるイベントでは、必ず複数人のアテンダントを付けてください。
- ⑤ 装着・装演する人及びアテンダントは、必ず当マニュアルを熟知してください。
- ⑥ イベント（催し）においては、演出などについて主催者や司会者と十分に打ち合わせをしてください。

※ゆりりんは、演技中の会話など、発声することを禁止しています。

(2) 控室の確保

- ① 控室は、着替えることができる十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることのできる部屋を用意してください。
- ② 外部からのぞかれることがないように留意してください。

[例]

□ 控室は、関係者以外立ち入り禁止区域に設ける。

□ 入口前にパーテーションを置き、外部から控室が見えないようにする。

- ③ 着ぐるみを置くビニールシートなどを準備してください。（汚れた床や地面に直接置くことは厳禁です）
- ④ 控室は、登場ポイントに極力近い方が望ましい。

(3) 運搬車両等の確保

- ① 着ぐるみ用収納袋（約100cm四方）を積載できる車両及び2人以上の運搬人員を確保してください。
- ② 使用前後の使用状況を確認し、受け渡しの調整を行います。

4. 着ぐるみに入る人の注意点

身長155cmから175cm程度の男女が適任です。

着ぐるみは、視界が狭くなる上、構造や素材の関係で動きが制限されることから、装演者は、危険のないよう周囲の状況に十分注意することが必要です。

初めて着ぐるみを装着する場合は、事前に着ぐるみを試着して、視界、動きなどに慣れた上で、本番に臨んでください。

また、着ぐるみを装着することでたいへん汗をかきます。汗はそのままにしておくとシミになり、カビや雑菌の繁殖原因にもなります。

そのため、その汗が着ぐるみに浸み込むのを最小限に抑えるため、以下の点に留意してください。

なお、着ぐるみは、身長155cmから175cm程度の方が装着できる構造となっています。

(1) 基本の服装

①頭

- タオル、手ぬぐい、バンダナなどを頭に巻いてください。
- 長い髪はゴムでまとめ、タオルなどで髪が垂れてこないようにしてください。
- ヘアピン、ヘアクリップなどは使用しないでください。

②顔

- 眼鏡は使用せず、裸眼かコンタクトを使用してください。
- やむを得ず眼鏡を使用するときは、曇り止め、眼鏡バンドを着用してください。

③体

- 夏 上：長袖Tシャツ
下：ジャージ、スパッツ、レギンスなど、足首まであるものが望ましい。
- 冬 上：トレーナー、長袖Tシャツ
下：ジャージ、スパッツ、レギンスなど、足首まであるものが望ましい。

④足

- 靴下を履いてください。
- 裸足は厳禁とします。

(2) 注意事項

- ①眼鏡、ピアス、アクセサリは外してください。
- ②化粧は取ってください。
- ③前日の睡眠不足、二日酔いなどは厳禁です。
- ④適度なストレッチなど、準備運動に心掛けてください。
- ⑤水分補給を確実に行ってください。
- ⑥便意など、緊急の場合に備え、アテンダントへのサイン、伝達方法を決めてください。
- ⑦火気厳禁です。特に、着用したままの喫煙は厳禁です。
- ⑧雨天時、降雪時などの使用は禁止です。

5. 着ぐるみのパーツ

(1) パーツ構成

①頭部

※羽衣付属（取り外し可能）

※頭パッド付属（内部）

※ファン付属

【収納袋A】



②衣装

※ウレタンパッド付属

※レイ付属（取り外し可能）

【収納袋B】



③手袋

【収納袋B】



④タイツ

【収納袋B】



⑤靴

※左右別

【収納袋C】



6. 着替えの手順

①タイツを着用します。



②靴を履きます。



③手袋を着用します。



※前にある紐とカチットでしまり具合を調節してください。

④衣装を着用します。



※背面にあるファスナー（ウレタン部、衣装部の2箇所）を開けて、上からかぶるように着用します。

※脱衣の際は、上から脱いでください。汗で身体と密着している場合がありますので、強引に脱がないようご注意ください。



⑤頭部をかぶります。



※頭内部にあるファンのスイッチを入れ、頭をかぶります。

⑥全体を整えて着用は完了です。

【正面】



【背面】



【右側面】



【左側面】



※アテンダントが外側から最終確認してください。

7. 装演時の注意点（中に入る人向け）

①装 着

□頭の視線を常に意識すること。

※装着すると構造上、視界が狭くなるため、振り向いたり、うなずいたりする際には注意してください。

□周囲への注意を怠らないこと。

※体の周りなど、近くの人、小さな子どもに十分注意してください。

②動 き

□動きはオーバーアクション気味に動いてください。

※意識的に大きく動かないと、見ている側には着ぐるみの動きが小さく見えます。

□小さな子どもとの握手は、できるだけしゃがんで行ってください。

※子どもは大きな着ぐるみに見下ろされる感覚になり、恐怖感を感じる場合があります。

□子どもを抱きかかえる行為は厳禁です。

※事故につながる危険性があります。

③発 声

□ゆりりんのキャラクターイメージを壊さないため、演技中の会話など、発声することは厳禁です。（特に、アテンダントとの雑談は厳禁です）

□装演者の感情は表に出さないでください。

※不都合な場合には、アテンダントに対応してもらってください。

□アテンダントとの間に「緊急事態」「トイレ」「我慢できない」などを知らせるサインを決めておいてください。

※周囲の方から殴る、蹴るなどの行為を受けた時も同様に、アテンダントへのサインで対処してください。

④移 動

□進行スピード、進行方向については、必ずアテンダントの指示に従ってください。

※着ぐるみの視界が狭いため、目の届かない部分はアテンダントの指示により把握してください。特に、階段などの段差がある場所は注意してください。

□走る行為は厳禁です。

※事故につながる危険性があります。

⑤環 境

- 必ず一定の時間を守り装演してください。
- 1回の装着、装演は30分程度を上限として、必ず休憩を取ってください。
- 無理、無茶な行動は絶対にしないでください。
 - ※特に、炎天下では装演時間を調整するとともに、必ず細めに水分補給を行ってください。
 - ※装演中は、着ぐるみの内部がかなり高温になるため、保冷剤などを活用し、十分な暑さ対策を行ってください。
- 火気の側には、引火の危険があるので絶対近寄らないでください。
 - ※装着したままでの喫煙は厳禁です。
- 雨天時、降雪時には、屋外に出さないでください。
 - ※着ぐるみの足はたいへん滑りやすいので、転倒する危険があります。
 - ※転倒した場合、修復不可能な破損や汚れになる場合があります。

装演中に破損した場合は、速やかに使用を中止してください。

8. 装演時の注意点（アテンダント向け）

①位 置

- 着ぐるみとは「付かず離れず」を心掛け、必要なときには、すぐに対応できる距離にいてください。
- 必ず着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助してください。（特に、階段などの段差がある場所）
 - ※進行方向や人、物の存在を確認し、装演者に伝えてください。
 - ※子どもなどの突進は、必ず止めてください。
- アテンダントが2人以上付く場合は、前後に分かれて付いてください。
 - ※後方のアテンダントは、後方から触ろうとする人への注意を促してください。着ぐるみが振り返るときなど、特に、後方は危険です。

②声掛け

- ポイントでは、必ず装演者に状況を知らせてください。
 - 握手、写真撮影は、必ず正面からゆりりんに伝えてもらうようお願いしてください。
 - ※声掛けは、装演者にはではなく、ゆりりんへの声掛けとして行ってください。
- 〔例〕
- 「ゆりりん、お友だちが握手したいですよ。」
 - 「ゆりりん、前に階段があるから気を付けてね。」
- 控室外で、装演者と無駄話はしないでください。

③対 応

- 周囲の状態に絶えず気を配ってください。
 - ※装演者は、周囲がほとんど見えないので、声掛けにより周囲の状況を知らせてください。
- 装演者の様子に気を配り、無理をさせないように努めてください。
 - ※出演時間をあらかじめ決めておくとともに、装演者の負担にならないよう切り上げる時間も併せて考えておいてください。（延長は避けること）
- 着ぐるみの周囲に集まる子どもには、特に注意してください。
 - ※装演者の視界には、子どもが入っていないことが多いことを考慮してください。
- 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度でハッキリとお断りしてください。
- 「誰が入っているの?」「男?女?」などの質問には、「ゆりりんですよ。」とにこやかに一言だけ答えるようにしてください。
 - ※ゆりりんのキャラクターイメージを壊さないため、装演者が誰かということにつ

いて答えることは厳禁です。

□握手や写真撮影の際は、必要に応じて、人の整理を行ってください。

□「抱きかかえてほしい。」などの要望は、明るくお断りしてください。

※「手が滑るんです。」など、動作的な理由は言わず「ゆりりんは抱っこできないんです。」と説得してください。（危険防止の観点）

常に不測の事態を想定し、安全性の確保に努めてください。

9. 着ぐるみの取り扱い、管理

(1) 着ぐるみを適正に管理（劣化防止など）するため、持ち運び、保管などを丁寧に行い、転がす、引きずるような行為は慎んでください。

- ①頭の髪飾りやレイ、羽衣は傷つきやすい生地です。引っ掛けやマジックテープには、特に注意してください。
- ②のぞき部分は、金網を使用していますので、顔の面を下向きに置かないでください。破損、変形の要因となります。
- ③無理やり狭いところに押し込めたり、上に物を載せたりしないでください。変形すると元には戻りません。

(2) カビなどを防ぐため、正しい片付け方法で返却してください。

- ①着ぐるみ内側の汗などは、きれいなタオルで拭き取ってください。
- ②風通しのよい場所で陰干しし、よく乾かした上で返却してください。
- ③消臭、殺菌スプレーなどを使用する場合は、必ずアルコール系（メディゾール、ライゾールなど）のものを使用してください。なお、着ぐるみの表面には絶対かけないでください。（変色などの原因となります）
- ④表面の軽微な汚れは、固く絞ったタオルで軽く水拭きしてから返却してください。

(3) パーツの紛失を避けるため、使用后、収納前は、必ず使用者の責任において点検してください。

(4) 著しく汚れたり、破損した場合は、必ず企画課まで報告してください。

※重大な汚損または破損が生じた場合は、使用者の責任と負担によりクリーニングまたは修繕を行っていただきます。

【問い合わせ先】

〒682-0723

鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留19番地1 湯梨浜町役場企画課

TEL 0858-35-5304 FAX 0858-35-3697

E-mail ykikaku@yurihama.jp